

稲作情報 No.13

水稻生育・大豆管理

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会]

5月2日に移植したハナエチゼンの出穂期は7月14日となり、平年よりも**4日早く**なりました。
現地でも、**平年よりも早い出穂**となっています。
ハナエチゼン以外の主要な品種の幼穂形成期はおおむね平年並みとなりました。

【水稻】

間断通水の水管理を徹底しましょう

断続的な降雨により、長期間湛水となっていた圃場は、土壌が軟弱です。一度落水し、天気が回復し次第、間断通水としましょう
病害虫の防除を適期に行いましょう（**斑点米カメムシ類の注意報が発令中**）

【大豆】

開花期（7月下旬）までに、**遅れずに培土を実施**しましょう。作業上、培土が1回しかできない場合は、しっかり株本に土がかかるように丁寧に仕上げましょう

土壌が湿潤で培土ができない場合は、雑草の繁茂を抑えるため、**除草剤の散布を優先**させましょう
病害虫の防除を適期に行いましょう

○農業試験場の生育（7/19）



○斑点米カメムシ類の注意報が発令中！



クモヘリカメムシ アカスジカスミカメ 斑点米カメムシ類による着色粒

- ・着色粒が1000粒のうち1粒が混入することで2等以下になってしまいます。
- ・対策は、**適期の防除**が重要です
（防除については、稲作情報No12参照）

いちほまれ 生育状況 令和6年7月18日調査

いちほまれ



	農業試験場		現地 平坦地			現地 中山間	
栽培方法 時期	上旬移植 5/2	中旬移植 5/20	上旬移植 5/2	中旬移植 5/19	直播 5/5	中旬移植 5/16	直播 5/10
地点数	1	1	7	7	8	2	1
草丈 cm	90.1	78.0	93.3	85.7	83.7	82.5	89.9
茎数 本/m ²	591	476	470	469	592	476	673
葉色 葉色板	4.2	3.7	4.1	4.2	4.2	4.3	4.5
幼穂形成期	7/6	7/15	7/6※	7/14※	7/15※	7/16※	-
幼穂形成期 (平年)	7/7	7/14	7/6	7/13	7/15	7/14	7/23

ハナエチゼン・コシヒカリ・あきさかり 生育状況 令和6年7月18日調査

品種		ハナエチゼン			コシヒカリ					あきさかり			
調査場所		農業 試験場	JA坂井 農場	現地	農業 試験場	JA坂井農場		現地（慣行栽培）		農業 試験場		JA坂井 農場	現地
栽培方法 移植・播種時期		移植 5/2	移植 5/1	移植 4/28	移植 5/20	移植 5/15	直播 5/7	移植 5/18	直播 5/3	移植 5/2	移植 5/20	移植 5/15	移植 5/15
地点数		1	1	8	1	1	1	15	4	1	1	1	3
草丈 cm	本年	96.9	-	-	85.0	91.7	78.2	84.6	84.2	80.7	71.1	74.4	76.8
	平年	86.7	-	-	79.5	-	-	78.7	79.8	77.0	70.9	-	74.8
茎数 本/m ²	本年	643	-	-	521	464	472	403	463	670	537	593	527
	平年	520	-	-	443	-	-	418	536	587	510	-	464
葉色 葉色板	本年	4.6	-	-	4.0	4.5	5.1	4.0	4.2	4.5	4.1	4.6	4.5
	平年	4.7	-	-	4.0	-	-	4.0	4.1	4.6	4.5	-	4.6
幼穂 形成 期	本年	6/26	6/27	6/24	7/12	7/12	-	7/12※	7/17※	7/7	7/16	7/16	7/12※
	平年	6/27	6/27	6/27	7/12	7/10	7/15	7/11	7/14	7/9	7/14	7/14	7/12
出穂 期	本年	7/14	7/16	7/13※									
	平年	7/18	7/16	7/18									

(留意点) - はデータなし、※は一部データ欠損により数字が変更される場合があります

大豆

病害虫

病害虫	防除適期
葉焼病	発生初期の7月下旬
紫班病	開花後20日目とその10日後の2回
ウコンノメイガ	葉が巻き始める7月下旬～8月初旬
シロイチモジマダラメイガ	莢への食入前 若莢期～莢伸長期の8月中旬以降
フタスジヒメハムシ	第2世代成虫発生盛期の8月下旬 〔 *要防除水準 8月下旬（第2世代成虫発生盛期）の払い落しで、1.5m、2条あたり約70頭以上 〕
カメムシ類	子実肥大期の8月下旬と9月10日頃の2回 〔 *要防除水準 8月下旬（圃場侵入期）・・・ダイズ100個体あたり0.3頭 9月中旬（発生盛期）・・・ダイズ100個体あたり4.0頭以上 〕

薬剤は病害虫防除指針の[117～119頁](#)を参照



葉焼病



ウコンノメイガ



フタスジヒメハムシ



カメムシ類



畝間灌水

除草・畝間灌水

項目	内容
雑草防除	病害虫防除指針の 126～128頁 を参照。除草剤の散布は時期が遅れないようにする。
畝間灌水	<p>葉が裏返る前に畝間灌水を行う 目安は1週間以上降雨がないとき（留意点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短時間で水を圃場に流し込み、圃場全体に水が行き渡ったら、湿害回避のために速やかに排水する ・かん水はできるだけ地温の低い夕方または早朝に実施する ・排水の悪い圃場では湿害となるため、実施しない